

# なんてん

〈難を転じて福と成す〉

第 10 号

発行日：2023.7.12

## 「新生」刈田病院

：：民営化3か月

### 目指すは黒字化？

365日24時間救急の、断わらない病院としてスタートした公設民営化の病院の現状はどうなっているか？

4月から総合診療科や整形外科などで医師3人着任。しかし、民間では不採算部門として敬遠される小児科と神経内科の医師の2人が6月末に退職となりました。

### 看護師不足3割以上

民間運営による、所得と労働条件の低下は、結婚や子育て希望の職員には厳しく、離職により看護師は3割以上不足、入院患者も受け入れ困難な状況が懸念されます。これは県南中核病院と機能分担による回復期患者受入れや、透析患者対応も心配されます。

### 小児科存続の要望署名

2,353 筆

6月26日(月)白石市に提出



### 現給保障 3年で終了

仁誠会の賃金激減の補填のため、白石市が現給保障(ボーナスは対象外)。

1年目は、10割保障、2年目は7.5割、3年目は5割、それ以降はゼロです。今後3年目の離職増が心配です。

### 失った医療

- \*小児科入院治療
- \*交通事故、災害事故対応
- \*虫垂炎(盲腸)等緊急手術
- \*一般外科手術
- \*透析患者合併症治療など

### 《待合室》

38年間刈田病院に勤務された小児科のS医師、この6月末、辞めざるを得なくなった▼患児の家庭の事情も丸ごと含め、治療に向き合う姿▼署名活動では「子供も孫もお世話になった。S先生に辞めないで欲しい」そればかり。▼自宅は仙台。患児が入院すれば、すぐかけつけられるように古い官舎に泊まって待機。▼奥さん「さっぱり帰って来ない主人は余程、白石が好きなのでしょうね！」「赤ひげ」を地で行く姿に感謝。私たちは大切な宝ものを失う。

3月に「小児科は開業医にお願いする」と伝え聞き、この地域での小児科では唯一の入院施設が失われてしまう危機に、5月に山田市長と議会議長に要望書を提出、その後、署名活動を行った。刈田病院の存在は熱中症や嘔吐下痢の脱水に入院管理下での水分補給の点滴治療など、家族の安心を支えてきた。署名の提出時には7月以降も同様に診療の継続をお願いした。

白石市2月定例議会より

第34・35号議案(予算案)

【今年度一般会計予算(34号議案)】  
 総額 173億93百万円

\*刈田病院関連は総額の12.1%

病院補助金 20億97百万円  
 退職手当負担金 13億35百万円  
 5億62百万円  
 運営貸付金 2億00百万円

【市予算から見えてくるもの】

\*仁誠会への貸付金の使途不明

\*子ども医療費助成 15歳まで

政令市以外の全市町村 18歳まで

\*国保税引き上げ(35号議案)

平均 7.6% (詳細は◎参照)

【伊藤勝美 議員の反対討論要約】

病院貸付金の説明に納得できず。

子供医療費も給食費も子育て家庭には厳しく、加えて国保税の引上げもある。市民生活の困窮への配慮がなく 34・35号議案には賛成できない

― 議会を傍聴して―

いつも反対ばかり、と言われる議員さん達がいる。でも、その方達の視線は常に弱者に向いている。病気の方や高齢者、子育て家庭・・・  
 反対する理由がある(T)

意見が分かれた議案の賛否一覧

議決結果	1 高子 秀明	2 佐藤 龍彦	3 伊藤 勝美	4 渋谷 政義	5 欠番	6 沼倉 啓介	7 高橋 純斎	8 小川正人 議員	9 平間 知一	10 保科善一郎	11 佐久間儀郎	12 四竈 英夫	13 大森 貴之	14 森 建人	15 角張 一郎	16 菊地 忠久	17 佐藤 秀行	18 松野 久郎
① 原案可決	×	×	×	○		×	×	議	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
② 原案可決	×	×	×	×		×	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○

①第34号議案(R5年度白石市一般会計予算)

\*○賛成×反対「欠」欠席 「議」議長のため表決に加わらない

②第35号議案(R5年度国民健康保険特別会計予算)

\*第35号議案は可否同数(賛成8反対8)となり、議長裁決により原案可決

刈田病院民営化アンケート

「期待する」が大半?

昨年末、開業医・歯科医・介護関連 113 施設に刈田病院について、アンケートをお願いした(回答 28 施設、24.8%)  
**公設民営化について**

「大いに期待する」「期待する」で7割(67.9%)を占めています。しかし、期待する理由として「期待するしかない、せざるを得ない」など、「やむを得ずの期待」を除くと5割(53.6%)になります。  
**信頼される病院を!**

仁誠会の提案では、「信頼される病院を望む」とし、

人件費削減では「医療従事者の、確保が難しくなる」と警告。

**在宅医療、夜間救急充実を!**

▼在宅介護・訪問看護との連携による在宅医療充実が 7 件▼夜間救急体制充実 5 件▼産婦人科、小児科等の充実 2 件▼咀嚼、嚥下の治療 1 件▼コロナ治療 1 件  
**民営化で市民医療を守るか!**  
 “公設民営化”に関する意見。

▼公設民営化は利益中心で、市民中心の医療体制は守れない 4 件。  
 ▼行政・公務員に期待できない。民間の力で変わらなければならぬ 2 件。

◎ 白石市の場合

国保税 平均 7.6%も引き上げ!

物価高騰が暮らしを直撃している最中、「2030年度県国保統一」を理由に今年度は国保税の平均 7.6%の引き上げが白石市議会で可決されました。さらに基本健診料引き下げの代償に人間ドック費用の自己負担増加も行い、白石市の国保世帯にとっては苦境となります。所得が少なく保険税を減免されている加入世帯は約 68%、そこにも重い負担となります(国保税額は自治体独自)

